かぜ ひかる　２００９年９月号

全国福祉保育労働組合　東海地方本部
〒４５６－０００６
名古屋市熱田区沢下町９－７
労働会館東館４０５
TEL 052-881-2971
FAX 052-881-2998
e-mail fukuhotk@onyx.dti.ne.jp
http://www.fukuho-tokai.jp/
発行責任者／三冨　和歌子

風光る

第二十三回定期大会

九月六日（日）労働会館東館ホールにて第二十三回定期大会が行われ、10年度運動方針・秋闘方針・新役員体制を確立しました。

大会には代議員・オブザーバー・執行委員を含め約百五十人が参加し、来賓の方々や、顧問の平出さんから「元気の出る」挨拶をいただきました。

今年の発言は十八本ありました。どの発言からも、自分たちの思い・要求を率直に出し合い、討議を重ね、運動を進めていく、分会・支部・種別それぞれの力強さを感じました。

この力に確信を持ち、東海地本として、多くの人達と連携し、今の情勢を跳ね返し、平和を守り、社会保障制度を守り、発展させていくことを確認し合いました。

多くの人の発言から「明日からまたがんばろう！」と元気をもらえた大会でした。

「アレルギーを持つ子に保障を」
ぐみの木分会　田中代議員

小麦のアレルギーの子のために小麦の少ない和食中心にメニューを組み、代替メニューもしている。アレルギー食の子を持つ親と一緒に「ぱくぱくの会」を立ち上げた。

昨年鈴鹿市と懇談をし、要求をして、給食担当者会議にも参加できるようになった。アンケート調査も実施して、アナフィラキシーを持つ子に対しての加配が付くようになった。これからも、親・管理職とも手をつないで、要求を勝ち取っていきたい。

「今、分会でできること」
名東分会　伊神代議員

昨年11月に11名の退職希望者がいた。話し合いをして、結果４人の退職にとどまったが、これではいけないと思い、世代ごとに３つのグループを作り、そこでいろいろ活動をし話し合った。

コミュニケーションを通して「つながること」が嬉しい」と感じられるようになってきた。

また、支部の中で分会の取り組みをほめられることが嬉しかった。職場でも小さなことでもほめあうことを大切に、認め合いながら、みんなで支えあう分会でありたいと思う。

「労使協に向けて」
かわらまち分会　西川代議員
池内わらべ分会　佐々木代議員
荒畑もちのき分会　安藤執行委員

かわらまち・池内・荒畑もちの木は同一法人だが、労働条件が違う。定年制や人事交流をみこした提案を法人側から労使協でしたいと申し入れがあった。

「労使協」って何？というところからのスタート。労働者の権利についても学び、団交という形にしたいと話し合ってきた。６月30日に一回目の話し合いがあり、その時は「説明だから」ということで、団交とはしなかった。また、分会同士で思い方が違う面もあり、合同分会で話し合いをもった。

「労使協でもルールを作ればいいのでは」「それで必要なら団交に切り替える」と方向を持った。９月７日に社労士に来てもらって学習もする。今回のことが分会同士が話し合う場作りのきっかけになった。今後も月１回会議の場を持っていく。

「世代別の討議で本音で話せた」
新瑞福祉会　高羽代議員

ここ数年栄養士をＣからＢ等級にするよう求める運動を分会として続けている。

「給食も保育の一環」という思いを理事会とも一致させる中、新たな提案が理事会から出された。

①職員の基本給の１％を徴収して基金を作る②週１時間の超勤を無給にする、のどちらかで進めたいと言う意見。49人の分会員がいる中で意見をまとめるのはとても大変。若い分会員にとって「長年の要求」と言われてもピンとこない。そこで、世代ごとで集まって意見交流をした。その中で栄養士の分会員から「もらいにくい」という率直な意見も出された。

しっくり話し合うことで分会としての妥協案①0.4％で②月２時間の超勤を出した。でもこれはゴールじゃない。引き続きの運動がいる。また、児童デイサービスに移動になった職員が戻ってくると、前歴加算の差ができてしまう問題もある。分会員が元気になれるよう、リフレッシュ休暇やお祝い金なども要求しながらがんばりたい。

「二つの分会でつながりを」
のぎく分会　間部オブザーバー

07年度公立保育園の民間委託をうけて、2つの分会になった。お互いに忙しく、それぞれで分会活動を行ってきた。なかなか意思統一ができず、「これではダメ」と思って合同分会を開催した。そうすることで、会議の持ち方から、一から保育を作る大変さなど細かい互いの状況が分かった。

新しい分会員も増え、組合活動も保育も伝えていくことがこれからの課題。これからも密な関係を大事にしていきたい。

けやきの木分会　土居代議員

ベテラン組合員は2人からのスタートだった。まずは「分会」を説明することから始めた。新人は責任者側から「こうだよ」と言われたら、それが「当たり前」になってしまう。要求が出てこない中、二年目の「夕涼み会」の事に要求を絞って取り組んだ。

まだ、のぎく分会とでは要求の温度差がある。若い子は「こんなこと要求してもいいの?」と思ってしまう。のぎく分会のベテランから「当然の要求」と説明されて安心できた。これからも合同分会を持ちながら、運動と仕事の線引きをしつつ、どちらの園にいっても生き生きと働き続けられるようにしていきたい。

「パートさんが主体になる場を」
みなと福祉会分会　河辺代議員

昨年度若い分会員が執行委員や青年部に出て行き、元気を振りまいてくれた。分会も元気になり、毎月1回分会を開催し、「一言は話をしよう」と会議の中で一人ひとりが話をしてきた。

分会が活動の基盤。そこを基に支部・地本へとつながっていく。今年も拡大をがんばってきたが、古いパートさんが脱退した。「組合に入っている意味が感じられない」と言われた。パートさんたちの思いを吸い上げれていなかったと力不足を感じる。パートさん自身の主体的な活動になっていなかった。まだ、形にはなっていないがパートさん同士が話し合える場を作って、今年はそこを分会として応援していきたい。一人ひとりが職場を良くする活動を進めていく。それは分会員だけでなく、組合員じゃない人とも交流を持って、要求を吸い上げていきたい。

「名市大どんぐりの状況」
名市大どんぐり分会　加藤代議員

名市大では今、二つの保育所があって、そこを統合して、委託させる計画がある。トットメイト運営の保育所には、保育の質の面で問題があり、父母会を立ち上げて、どんぐりの親と一緒に運動を始めている。

統合後の保育所に関しては、大学側が取り仕切っていて、委託後の労働条件には口出しできないという態度。労働条件の低下は目にみえている。その公募の段階で、保育の質が守られるように、組合として、大学側と懇談をする一方、選定委員にも要望書を提出した。

社会福祉法人に受託してもらって、子ども達にとってよい保育を守りたい。また、ビラ撒きなどご協力をお願いします。

「企業委託した保育職場で」
東市民病院内保育所　増村執行委員

東市民病院内「ぽっぽ保育所」は4月から企業化され継続雇用はしたが条件は引き下げられた。苦渋の選択で3人の分会員が退職、委託化の流れの中でも、一人退職した。

ぽっぽ保育所は41年の歴史の中で、父母と共に「いい保育は職員が生き生きと働き続けてこそ」という思いで労働条件を守ってきた。それが、企業化によって一方的な不利益変更で崩されてしまうことがショックだった。しかし、これまでの運動の中で、8割の現給保障を勝ち取るなど成果はゼロじゃない。今自分たちにできることは拡大。4月からぽっぽに転勤した、以前からの組合員と一緒に活動し、6月に一人拡大した。さらに拡大していきたい。同じく企業化されたあすなろとも連携しながら、元気になれる活動をしていきたい。企業化は残念な結果だが、組合があったからここまでこれた。これからもよろしくお願いします。

「あすなろ分会を結成して」
ひまわり分会　高松代議員

「あすなろ」はひまわりが認可を受けたのを契機に34年前できた院内保育所。それが7月から企業委託された。企業化にあたり、不安でいっぱいだったが、条件をちゃんと守っていこうと働きかけ、ひまわり分会だけでなく、支部、地本、職保部会と連携しながら、分会の立ち上げを進めてきた。

あすなろ分会　桑田オブザーバー

あすなろ分会は今2名で、ひまわり分会にいろいろ話を聞いてもらいながら、活動している。保育をしていて、キビシイと思うのは報告書の提出がとても多いこと。ちょっとしたトラブルで痕も残ら

新執行部です　よろしくお願いします

執行委員長　三冨和歌子　田代保育園
副執行委員長　柏本多恵子　社会館
神田　春美　新瑞福祉
鈴木　敏弘　みなと福祉会
長尾　倫子　城西病院内保育所
服部　公一　社会館（書記局）
書記長　藤原　佳子　書記局
書記次長　林　拓己　のぎく保育園
執行委員
安藤　実花　いりなか保育園
安藤　光枝　荒畑もちの木保育園
石黒　修一　ゆたか支部
石濱　丈司　めばえ保育園
石脇のぞみ　みよし保育園
五十川　薫　ちよだ
榎本　淳　名市大病院内保育所
大川　真護　みなと福祉会
大矢　知里　そよ風
岡村　悦子　城北病院内保育所
兼子　良子　みよし保育園
栄　エリカ　めばえ保育園
鈴木　規子　けやきの木保育園
田部井星一　そよ風
田中真倫子　かわらまち夜間保育園
寺坂　渉　ひまわり保育園
外山　華子　ほしざき保育園
中山和佳子　池内わらべ保育園
西岡　菜絵　新瑞福祉
水野　彩子　東市民病院内保育所
山田　純也　のぎく保育
山森　藤子　どんぐり保育園
横井あかね　第2めいほく保育園
吉田　房枝　春日井福祉会分会
会計監査　佐藤由美　あいかわ保育園
三浦修司　ひまわり保育園
特別執行委員　仲野　智
顧問　平出　暁
小早川弘江

ないような引っかき傷でも報告書。この8月だけで16回もあった。これでは「ケガをしないように」という保育しかできない。オモチャも子どもの手の届くところにはない。本棚も「つかまり立ちをして、転ぶから」と撤去された。こんなキビシイ状況の中、分会の仲間とがんばろうと話し合っている。これからもひまわり分会と一緒に、組合活動を通し保育を良くしていきたい。

「優全さくら、解雇撤回」

千種名東支部　岡田代議員

優全さくら分会は、この春で和解が成立しました。解雇撤回のお祝い会も開催でき、その報告集も作った。

この闘いの中、田中さんの「労働者のクビは簡単には切れないんだ」という言葉が印象に残っている。床暖房を切り忘れて減給処分。小さなミスや、こじつけを積み重ねて解雇を言い渡す。園長も短期間のうちに3人も入れ替わる。

私たちも「許せない・労働者をなめるな・理事長を懲らしめてやりたい」そんな思いで団交を繰り返してきた。闘争のノウハウも無い中で、地本・支部、地域がみんなで集まって方向を出していった。

支部長になってすぐにこの話が支部にきた。大変だったけど、支部のみんなが「二人だけの問題じゃない」と支えてくれた。団交にも駆けつけ、ビラも配るよという仲間の応援が力強かった。仲間を支えるのは仲間の力。和解が成立した後、森さんは新しい保育の現場で働き、田中さんも支部の取り組みに参加するなどつながっている。

支部では東市民ぽっぽのことも大きな取り組みとして輪を拡げていきたい。

【新執行委員長挨拶】

田代保育園分会　三冨和歌子

みなさん大会お疲れ様でした。

大会で確認された今年度の方針にもあるように、保育の分野で現行制度を崩す「新たな保育のしくみ」の導入が進められようとしています。この国の動きは、２０１２年に向けた、介護・障害分野に続く、社会保障制度破壊の大きな流れの中にあります。

この厳しい情勢の中、委員長になるのは、少々荷が重い気もしていました。しかし、５年間執行委員をしてくる中で、自分の力の足りないところはまわりの執行委員や、組合員のみんなに助けられながら活動していることも実感してきました。みんなの力があれば大丈夫。私の後ろには７０８人の仲間がいるんだもの。

大会での発言にも、仲間を大切にし、分会討議をていねいに積み重ねている姿がたくさんみられ、元気をもらいました。

さて、国政にも自民党の大敗、民主党連立政権の誕生という大きな動きがありました。大きな壁に穴があけられ一筋の光が見えています。私たちは運動の手を緩めず、この穴をさらに広げていかなければなりません。仲間の輪を大きくしながら、仲間としっかり手をつなぎ、運動を進めましょう。

１年間よろしくお願いします。

「支部の活動について」

昭和天白瑞穂支部　堀池代議員

支部で１４０名の組合員がいる。いろいろな取り組みをしていて、参加の人数は減ってきているが、やれば「よかった」という声が多く、やってよかったと思う。７月にバレーボール大会を開催。運動する機会も減っているので楽しめた。保育も身体が資本。

未組織の福祉職場の人にも声をかけて「夜明け前の子ども達」の映画上映会もやって、違う分野のことが学べた。

メンタルヘルスの学習会もして、これには34名の参加者があった。要求になっている。

保育でも組合活動でも大切なのは「共感的自己肯定感」。自分自身が忙しい中でも「ちょっとがんばったな」と認められる。だから、やり続けることができて次につながっていく。元気になれる取り組みをしたい。

「地域に責任を持つ支部に」

中中村東支部　柳原代議員

未組織職場訪問を位置づけ、ここ２～３年粘り強くＹ作業所に働きかけを続けている。歌声にも誘っているが、組合にはまだ未加入。できることは何かを考え、障害分野のことが分からないので学習もしている。Ｙ作業所の人が腹を割って話せるようにしていきたい。支部として、地域に責任を持っていきたい。

「産業医契約を勝ち取って」

第2めいほく分会　加藤代議員

産業医を今年設置することができた。理事会はお金もかかるし、近くに嘱託契約をしている病院もあることから消極的だった。でも、昨年秋の連続組合講座で学んだことを分会に持って帰り、使える制度があることなど理事会に提案し、資料を作って理事会のメンバーにも渡し繰り返し訴えてきた。組合から要求を出し続けたことが実った。

職場巡視の際は組合員も一緒になって話を聞くつもり。

安全衛生委員会も立ち上げた。５月に新しい職員がヘルニアになってしまった。もう復帰はしたが、これから職場の見直しをして、みんなが長く働けるよう組合としてがんばっていきたい。

「職対部の活動について」
職対部　黒田オブザーバー

今年各支部から一人ずつ集まったことでメンバーが増えた。組合員が生き生きと働き続けられるよう各分会の状況を確認している。

横井委員長 3年間おつかれさまでした

３年の間、仕事に組合活動にと、忙しい日々を元気に乗り切る委員長。その姿に多くの組合員が元気もらい、地本全体が活気づきました。本当にありがとうございました。

ここ最近メンタル不全も増えてきたこともあり、学習を大切にしている。６月19日の「産業医から見た福祉職場」の学習は労使共に学べた。08年度16ヶ所だった産業医契約園が09年度は22ヶ所に増えた。これからは、安全衛生委員会を全ての職場で立ち上げ、職場改善が進むようとりくんでいきたい。

「原水禁世界大会報告」
石脇・青木・柳原代議員

石脇…米国オバマ大統領の「プラハ演説」以来、核廃絶の動きが前向きに進んできている。大会の中で、草の根の活動を通して、できることを少しずつ、やり続けていくことが大切だと話された。

青木…世界大会に参加してこんなに大勢の人が平和について同じ思いを持っていることにビックリした。

柳原…被爆者の方の話もきけ「平和が一番」という言葉がシンプルだけどとても深く、重く響いた。たくさんの人に伝えたい。

林…報告集を作ったので、是非読んでほしい。今世界には２万５千発の核兵器がある。唯一の被爆国である日本が先頭に立って廃絶を訴えてほしいのに、今の政治は逆行している。何とかしたい。

「『なつわか。』全国の青年と交流」
青年部

今年東海で開催した「なつわか。」。全国の仲間を出迎えるために、夕食交流会では支部・分会のみなさんに屋台を出してもらい、東海地本全体で青年部を支えてもらった。ありがとうございました。全国の人と知り合えて、また、一つ輪が大きくなった。

毎月第１月曜日に会議をしている。青年の交流をしたり、出張青年部もしている。普段行けないところに行くので、みなさんも参加してほしい。

全国青年部の役員が酒井から奥原に代わった。今までありがとうございました。これからも、全国で元気をもらって、東海にも反映させていきたい。

「これからの運動について」
保育協　栄執行委員

市交渉お疲れ様でした。これから「新たな保育のしくみ」反対の署名に、春の直接請求署名でできた地域のつながりを生かして、大きく取り組んでいきましょう。

今年度で退任をされる執行委員の皆さん、本当にお疲れ様でした！

大会で09年の活動をまとめ、10年の方針を決定しました。

思えば、仲野さんを中央に送り出し、不安一杯で出発した09年でした。しかし、大会での各発言はどれも方針案を補強する力強いもので、組合員ひとり一人、みんなの力でしっかりと「組合活動」をつくっていると実感できました。

09年は、昼の執行委員会に集まる事が難しいことや委員長交代の時期ということもあり、各分会に投げかけ、執行委員の役割や、送り出し・送り出される自覚も話し合いました。そして、執行委員会でも、厳しい情勢に押しやられず、現場委員長の下、現場から作り上げていく充実した魅力的な組合活動にしていこう！と意思統一しながら取り組んできました。

10年度は、そんな中で就任の決意を固めてくれた三冨委員長を中心に、ひとり一人の存在を大切に、〃「みんなで」考え、「みんなで」決めて、「みんなで」作っていく〃組合活動をさらに積み上げていきましょう。

「仲間がいるって嬉しいね」

今心からそう思います。

書記長　藤原佳子

【編集後記】

やっと「なつわか。」終わりました！６月頃から青年部＆「なつわか。」実行委員を中心に準備をし、東海の組合員のみんなの力で、無事成功しました。ありがとうございました。全国の青年の人たちも「東海はスゴイ！」といっぱいおほめの言葉を頂きました。無事成功をおさめた「なつわか。」。その裏側をご紹介…。

準備を一生懸命行ってくれていた「なつわか。」実行委員会の人々。ブログをたちあげたり、会議の様子を何度もニュースにして発信したり。そして、夕食交流チームとオプショナルツアーチームに別れての会議。どんな企画にしよう？夏祭りみたいにして、盛り上がりたいよね。名古屋の名所に連れていこう！名物も紹介したいよ!!などなどやりたい思いはいっぱい。だけどそれを現実にするのは、とーっても難しい。自分たちの意見を戦わして、会議の時間は、22時、23時をまわっていました…。全国の青年の人たちに楽しんでほしい！という思いをひとつにして、つくりあげてきました。本当にありがとうございました。

（久）